6月定例会 質疑からPick UP!

Main question Pick up

元号が令和となって初の定例会（6月6日～17日までの12日間）。提出議案は、平成31年度から令和元年度に改められた一般会計補正予算ほか8件。現議員構成15人で臨む最後の定例会は、傍聴者も多く、白熱した質疑も見受けられました。毎号、この見開きページでは町の重要施策や、予算・決算に関する特集をお伝えしていますが、ページ数の都合により今号は見送りさせていただきます。

令和元年度 一般会計補正予算に関する質疑

旧二葉支店購入

Q 建物の現状は。

A 閉店後の風雨で建物は劣化が起きています。早急な補修が必要です。まずは周囲に迷惑がかからないように、本年度の予算内で補修します。

Q 購入に至った経緯は。また土地の持ち主が別で賃借料を支払うようだが、先々をどのように考えているのか。

A 駅前の一等地であったことに加え、持ち主が町のためになればと、町への売却を優先して考えていましたので、検討・議論を経て購入を決めました。また、底地(そこち)1については、今後の交渉により取得する方向で考えています。

Q 利用構想をどのように考え、どのような効果を求めるのか。

A 駅前再開発のシンボルと町活性化の中心にするために購入します。早急に構想をまとめて整備を進め、有効活用できるようにします。

プレミアム付商品券2

Q 消費税の引き上げによる逆進性(ぎゃくしんせい)3を緩和するための措置だということだが、販売金額と1枚の額面及び販売方法は。

A 5000円分の券を4000円で購入できます（20%のプレミアム）。最大2万5000円分までとし、1枚の額面は500円です。また販売場所は、郵便局を検討しています。

地域おこし協力隊4

Q 目的と活動内容は。

A 観光振興・地域のPR・移住定住人口の増加に関わる活動・農林業の振興に関わる活動等、広く活用を考えています。

今回は、地域の魅力向上推進委員として、おがわ学構築のコーディネーターとともにおがわ学を構築するための一助にする、また地域の活性化を図るよう活用していきます。

かつては小川町の栄華を象徴するお店であった。活用の計画を待たずしての見切り発車的ではあるが、期待してよい場所である。今後、全庁で考えた活用で、希望につながるまちづくりを。

緊急風しん対策

Q 対象者と周知方法は。

A 今回は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性全員を対象者にクーポン券を送付します。医療機関で抗体検査をし、抗体ができていない人に対して予防接種をします。広報等で周知します。

鶴巻公園整備

Q 平成31年度当初予算では、乳幼児から高齢者まで楽しめる「多世代交流型の公園」へ再整備される説明に、大きな期待を寄せた。今回、助成金からまちづくり寄附金へと財源の組みかえをするが、理由は。

A 予算獲得に向け助成金を申請しましたが、平成24年に助成金を受けていたことから他自治体が優先され、当町は不採択となりました。よって、整備を予定していた高齢者向けの健康遊具を見直し、乳幼児向け遊具のみ設置します。ココットを中心に子育ての拠点として、また子育て世代の多様なニーズに応えるような憩いの場として、整備していきたいと考えます。

新ごみ処理施設

Q 埼玉中部資源循環組合、新施設稼働への進捗状況は。

A 本体施設については、仕様書（案）も固まり、今年の秋に設計及び工事入札公告を予定しています。令和3年度内の工事着工に向け進んでいます。ただし、付帯施設については、構成する9市町村間で運営費に関する負担割合を調整中です。

令和元年度 特別会計補正予算に関する質疑

農業集落排水施設

Q 更新費用が計上されたが、町は的確な保守管理を行なうとともに、必要な修繕や更新を計画的に考えていたのか。

A 後伊クリーンセンター内のばっ気撹拌(かくはん)装置が故障しました。耐用年数を超えた機器であることは認識していましたが、部品調達が難しく、修理ができませんでした。今後は点検項目を増やし、計画的な更新を考えていきたいと思います。

Q 近隣住民へ「安全宣言」を周知すべきではないか。

A 窒素は基準値35・0㎎／ℓに対し6・8㎎／ℓ、リンは4・0㎎／ℓに対し2・2㎎／ℓ、BOD5は1・0㎎／ℓ以下で、機器が故障する前と変わらぬ数値であったことから、安全な水質と判断しました。ご指摘を受け、周知していきます。

人間で言えば、一定の年齢に達すると身体の健診項目を増やしていく、危機管理とはそういうもの。「長持ち」させるためには、保守管理料の上昇にも理解を深めなければ。

解説 底地1
地主が、その土地を第三者に貸して地代収入を得ている土地のこと。

解説 プレミアム付商品券2
消費税10%への引き上げが低所得者・子育て世帯（0～2歳児）の消費に与える影響を緩和するために、該当世帯に限定し販売する。必要経費は国から全額補助される。

解説 逆進性3
課税は所得に応じて増える累進性が基本。消費税は所得が少ない人ほど税負担が重くなる。これを消費税の逆進性という。

解説 地域おこし協力隊4
隊員は、自治体ごとの公募により採用となる。一定期間、地域に居住して、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行ないながら、その地域への定住を図る。経費は、国から特別交付税措置される。（最大400万円）

解説 BOD5
生物化学的酸素要求量の略称。水質指標をあらわす際に用いられる。

6月定例会　全議案について全員賛成
町議会のホームページでは、全議案についての審議結果一覧がごらんいただけます。